まちのわだい

餅まきで祝う15周年

道の駅くじやませ土風館15周年感謝祭　4月13日

1／袋を片手に持ち準備万端　2／笑いが絶えないＩＢＣラジオの公開録画放送
3／フクロウと触れ合う来館者　4／レストラン山海里の新メニュー「ひまつぶし」ゆっくり時間を楽しんでほしいとの思いが込められています

道の駅くじやませ土風館が15周年を迎え、桜が満開に咲くなか、２日間にわたり感謝祭を行いました。

地元の食材が並んだグルメ屋台やキッチンカーが出店。動物と触れ合うコーナーも設けられ、多くの人がイベントを楽しみました。

４年振りに餅まきも行われ、公開ラジオ放送で訪れていたＩＢＣラジオの甲斐谷望アナウンサーも飛び入り参加。手を挙げてアピールする来館者の姿も多く見られ、会場は笑顔であふれました。湊小学校２年の一田悠利（いちたゆうり）くんは「初めて餅まきに参加しました。頑張って８個ゲット。景品付きの餅がなかったのは残念だけど、すごく楽しかったのでまたやってみたいです」と目を輝かせました。

郷土食の魅力を再確認

郷土食試食会　3月22日

お互いのメニューをアピール

山形町郷土食保存継承の会は、食を使った地域振興に取り組み、出前講座や文化庁100年フードのイベントなどにも参加。情報発信も積極的に行っています。郷土食試食会では、手作りの料理を持ちより郷土食御膳を作成。お互いの活動状況を確認し、交流を深めました。

小久慈通学路に歩道整備

交通安全街頭指導　4月11日

整備された歩道を通り通学する児童

平成29年から整備を進めていた通学橋付近の歩道工事が３月下旬に完成しました。歩道の幅員が２．５㍍と広くなり、安全に歩行することができます。新年度のスタートに合わせ、遠藤市長や教職員、保護者などが通学路で交通安全を呼び掛け、登校する児童らを見守りました。

大漁を願い準備

小袖定置網作業　4月4日

漁の準備に取り掛かる小袖漁港

メカブやワカメなどの新物が出回り、季節の変わり目を感じます。市内の店舗でも春の味覚を楽しむ食材を見かけるようになりました。小袖定置網組合では、大きく頑丈な重い網をクレーンで持ち上げ、強力ジェットで洗浄。本年度の漁の準備に取り掛かっています。（八木沢）

小久慈の桜を見に行こう！

ふるさと未来づくり事業・桜ウオーキング　4月16日

満開の桜の下で笑顔の参加者

小久慈の桜を名所にしようと行われた桜ウォーキングに19人が参加しました。小久慈市民センターから長内川左岸堤防の桜を眺めながら滝ダムまで散策。満開のしだれ桜や花吹雪に大満足。運動後は手作りのがんづきをほおばり、花も団子も笑顔で楽しみました。（大久保）

広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
問地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢　政隆 リポーター

大久保勝男 リポーター

順調な滑り出し

久慈湾ギンザケ養殖初水揚げ　4月20日

今年初めて水揚げされたギンザケ

平成31年４月から久慈湾で養殖しているギンザケ「久慈育ち琥珀サーモン」が、約３．３㌧初水揚げされました。久慈市漁業協同組合の大向幸弘参事は「成長も良く順調な滑り出し。脂の乗りも良く、たくさんの人に食べてほしいです」と思いを語りました。

温かい支援で支える活動

国際ソロプチミスト久慈　3月22日

笑顔で記念撮影する出席者

国際ソロプチミスト久慈が、夢に向かって活動する人を応援する、夢を生きる女性のための教育・訓練賞やボランティア団体、子どものための支援金の贈呈式を行いました。深瀬和子会長は「活動を続けてから29回目。少しでも力になれればうれしいです」と思いを語りました。

後世に残す思い

宇部川地区営農組合が記念碑を建立　4月14日

完成した記念碑の前で記念撮影

宇部川地区営農組合が、連続テレビ小説「あまちゃん」のオープニングシーンのロケ地に、放送10年を記した記念碑と東日本大震災などの困難を乗り越え、一部計画を変更して完了した農業水田整備完成記念碑を建立。記念式典に関係者ら約30人が参加し、完成を祝いました。

よむのすの本が好き

情報交流センターよむのす50万人達成　4月18日

50万人達成のボードを掲げる関係者ら

よむのすがの入場者数が、２年８カ月で50万人を達成。久慈小学校１年の長内惟昊（いそら）ちゃんと弟で３歳の奏大（かなた）くんが50万人達成の記念品を受け取りました。普段から図書館を利用しているという惟昊ちゃんは「恐竜の本や絵本が好きです」とはにかんだ笑顔を見せました。

表情豊かなつるし飾り

つるし飾り展示会　3月26日～４月９日

手の込んだ作品に見入る来場者

やませ土風館で、かわいらしい表情や色とりどりのつるし飾りが展示され、来場者の目を楽しませました。三沢市の大野キヤ子さんは「コロナが落ち着いたら来たいと思っていた土風館。自分が好きな形のちりめん細工もあり、感動しました」と目を輝かせました。

囲碁ボール競技で交流

夏井地区、元気にニュースポーツ実践　4月15日

高度なテクニックや作戦で奥深い試合を楽しんでいます

夏井地区では「いきいき百歳体操」で身体をほぐしたあと、ニュースポーツの「囲碁ボール競技」を実施。毎週土曜日の午後に実施している囲碁に似たゲームで、健康維持や増進に取り組んでいます。仲間同士の親睦・交流にもつながり、楽しくプレイしています。（梅沢）

八木沢万寿美 リポーター

小渡　正利 リポーター

大石　純夫 リポーター